

アーツ・アンド・クラフツは、19世紀後半のイギリスで興ったデザイン運動です。産業革命後の工業化の波の中、思想家ジョン・ラスキンは「機械が人間の労働から創造性を奪う」と批判し、中世の創造と労働が一体となった社会であるべきと唱えました。ラスキンの思想に傾倒したウィリアム・モリス(1834-1896)は、仲間たちと共に手仕事を通して「すべての人々の生活に美しいデザイン」を提供しようとした。モリスらの仕事に影響を受けた多くのデザイナーや建築家たちは、アーツ・アンド・クラフツ運動を発展させ、やがてその影響はヨーロッパを始め世界各地へと及びます。アメリカでは、建築家フランク・ロイド・ライトが機械生産を受容し、運動の新たな方向を提起しました。

本展では、各地の歴史や文化、社会情勢を反映しながら展開を見せたアーツ・アンド・クラフツ運動の広がり多様性を、イギリスとアメリカのテキスタイルや壁紙、家具、タイル、ガラス、アクセサリーなど約150点を通じてご紹介します。



ウィリアム・ド・モーガン
タイル《バラと格子》
1872年頃 ド・モーガン工房



C・F・A・ヴォイジー テキスタイル《小鸟》
1918年頃 モートン・サンダー・ファブリック社



ウィリアム・モリス 本デザイン《ユートピア便り》
1892年 ケルムスコット・プレス



《キャビネット》 1900年頃
モリス商会

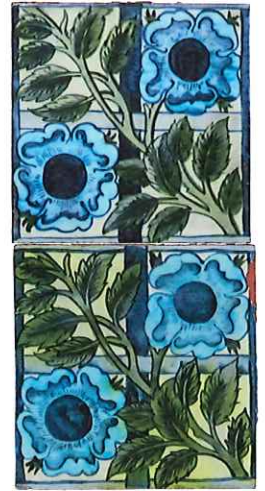


Photo ©Brain Trust Inc.

特集展示 「アーツ&クラフツの陶芸 - 産業技術総合研究所のコレクションから」

記念講演会 申込不要、参加無料

「モリスとド・モーガンのタイル」

講師：吉村典子氏(宮城学院女子大学 教授)
日時：2023年2月12日(日) 午後1時30分から(1時間半程度)
定員：100名(当日先着順)

ミニ講座＋ギャラリートーク 申込不要、要観覧券

日時：2023年2月5日(日)、3月5日(日)
いずれも午後1時30分から(1時間程度)
定員：各回20名程度

体験講座 要参加料・観覧付き、要事前申込

「ティアドバイザーに学ぶヴィクトリア時代の紅茶文化」

講師：森川 隆氏(日本紅茶協会認定ティアドバイザー／紅茶館M's Tearoom 主宰)
日時：2023年2月23日(木・祝)
午前の部：午前10時から／午後の部：午後1時15分から
定員：各回15名

ワークショップ 要参加料・観覧付き、要事前申込

「自然の美しさに心を馳せるータイルに和と洋の動物を描く」

東洋と西洋の動植物の表現を学んだ後に、タイルに美しい自然を描きます。
講師：石川理恵氏(陶芸家)
日時：2023年3月11日(土) 午後1時から
定員：20名

●申込み方法やイベント詳細は当館公式WEBページをご覧ください。

瀬戸市内の展覧会情報

瀬戸蔵ミュージアム 2022年12月3日(土)～2023年3月5日(日)
企画展「白雲陶器ー純白軽量なる新陶器ー」

瀬戸市新世紀工芸館 2023年1月21日(土)～3月12日(日)
「第19期・20期 瀬戸市新世紀工芸館研修生作品展」

瀬戸染付工芸館 2023年1月7日(土)～3月26日(日)
企画展「瀬戸の染付ー飯碗ー」

次回展覧会のお知らせ | 特別展「未来へつなぐ陶芸ー伝統工芸のチカラ」
2023年4月15日(土)～6月18日(日)



●公共交通機関
リニモ「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m(リニモへは地下鉄東山線「藤が丘」駅又は愛知環状鉄道「八草」駅で乗り換え)名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝日のみ)

●自家用車
駐車場無料・250台
大型バス9台収容

〒489-0965
愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL 0561-84-7474
FAX 0561-84-4932
https://www.pref.aichi.jp/touji

公式WEBページ



愛知県陶磁美術館
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM